# イラスト 山本コウカ

# vol.14 100 13-4



ギリギリだをこのコマ…







# App Store アプリ のお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から 読むことができます!





会誌「情報処理」

デジタル プラクティス

アプリのダウンロード はこちら(無料)

デジタル 会誌「情報処理」プラクティス







# 情報処理学会

IT に関する最新情報や研究発表の場の提供を 通じて、あなたのお役に立ちます



研究会がたくさん♪\

自分に合った分野 が見つかりそう!

#### 詳しくは<u>http://www.ipsj.or.jp/</u> をご覧ください

#### お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

# □┃情報処理学会の会員になりませんか!

# www.ipsj.or.jp

一般社団法人情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化 社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。



#### ■活動の概要

- ○出版活動(学会誌「情報処理」、論文誌、デジタルプラクティス、単行本の発行)、電子図書館への掲載
- ○各種行事の開催(研究発表会、全国大会、FIT(情報科学技術フォーラム)、シンポジウム、連続セミナー、ソフトウエアジャパン他)
- ○教育活動(大学の標準カリキュラム策定、JABEE 認定審査、認定情報技術者(CITP)認証、教員免許更新講習)
- ○国際交流(IFIP への加盟、海外学協会との提携)
- ○標準化活動
- ○その他の活動(各種提言・コンピュータ博物館の運営・情報処理技術遺産の認定・表彰・支部活動他)

#### 【会員になるには

入会金(正会員のみ)と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証(賛助会員除く)をお送 りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

名誉会員:当学会の活動において特別な功績があり、総会で推薦された個人 正 会 員: 当学会の目的に賛同して入会した個人で、当学会の中心的会員

学生会員:学校に在学中の個人

ジュニア会員:小学生~大学学部3年生以下の学生(会費無料)

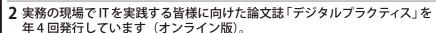
当学会の活動をサポートする団体または個人

#### ご入会いただくと、こんな良いことがあります。

2015 年度

1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます(ジュニア会員は電子版のみ)。

特集:災害科学と情報技術/音楽情報処理による障害者支援/かわいい/自然言語処理技術の現状と展望/ プログラミング言語 Ruby の最新動向/暗号と社会の素敵な出会い/ビッグデータがもたらす超情報社会/ ウェアラブル・ユビキタスコンピューティング研究の最新動向/クラウドソーシングの現状と可能性/あのこ ろの未来/宇宙システムのつくりかた/画像認識革命/宇宙開発への情報技術の貢献/障がい者・高齢者と 築く社会参加支援/いまさら聞けない! コンピュータの数学/学会イベント支援、他



特集:3D プリンタがもたらす、革新ものづくりによる新たな世界(1月刊行)/ UX が拓く新しいデザインの 世界(10月刊行)/ビッグデータ分析をビジネスに活かす(7月刊行)/教育と情報通信技術(ICT)(4月刊行)

- 3 電子図書館(情報学広場)で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。
- 4「連続セミナー」に会員価格(7,000円お得)で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数 回にわたり開催しています。2015年度は「イノベーション最前線:押し寄せる変革の本質を探る」をテーマに、 6回開催しました。

**5** ホットトピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」(5,000 円以上お得)や 「研究会」に会員価格で参加できます。

3D プリンタ、Bit Coin、Fintech、GPS、IoT、ITS、アクセシビリティ、暗号、インターネット、ウェアラブル、 組込みシステム、クラウド、ゲーム、自動運転、障害者支援、シンギュラリティ、人工知能、スマート社会、セキュ リティ、ソーシャルネットワーク、ダイバーシティ、データマイニング、ドローン、バイオ、ビッグデータ、 ユビキタス、量子コンピュータ、ロボット

6 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、日本のコンピュータ史等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

お問い合わせは、

−般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

## 会誌「情報処理」58 巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑 誌を目指し、日々努力しております.

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします、奮ってご応募ください、採用された方には賞金を贈 呈いたします.

#### 応募条件 ・表紙のデザイン (裏表紙, 背表紙は含まず).

- A4 判(天地 297mm×左右 210mm)4 色フルカラー.
- ・描画手法は問いません.
- •「情報処理」の題字,巻号,法定文字,記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください.
- ・簡単なデザインコンセプトを添えてください.
- ・応募資格は問いません.
- ・可能でしたら、毎号どこかの色を変更する、1 つずつ絵の要素が増えていき 12 号ですべて揃う…など、 号によって少しずつ違ったデザインになるような工夫をお願いいたします(12号分のデザイン案,も しくはテキストでの説明も可)

#### 注意事項 ・応募作品は返却いたしません.

- ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります.
- ・採用作品の著作権(著作権法第27条,第28条の権利を含む)は情報処理学会に帰属します.
- ・応募作品は未発表のものに限ります(応募作品の知的財産権について,第三者との間に紛争が生じた場) 合は、作者がその責を負う).
- ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします.

2016年11月4日(金)(必着) 応募締切

結果通知 2016年11月下旬 採用者1名に4万円

送付先/照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

> 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

# 会員の広場 Member's Vo

今月の会員の広場では,7月号へのご意見・ご感想を紹介いた します. まず, 巻頭メッセージ「2016 年熊本地震と学会の目 指すもの」については、以下のようなご意見・ご感想をいただ きました.

■時宜を得た素晴らしいメッセージだと感じました. (居名希望)

巻頭コラム「サイエンスと同じように、アートによって、人類 は世界が見えるようになった」については、以下のようなご意 見・ご感想をいただきました.

■アーティストはアート作品で自分の世界の見方を表現 するという考え方が新鮮で面白いと感じました. ただ 正直抽象画などで「私には世界がこのように見えていま す」と言われても、うむっと思ってしまいますが…….

(匿名希望)

特集「リンクト・オープン・データの利活用」については、以 下のようなご意見・ご感想をいただきました.

- ■興味を持てなかった. LOD はセマンティック Web か らの進展がよく分からなかった. (匿名希望)
- ■会誌を読む前は、リンクト・オープン・データの意味 を知りませんでした. しかし、AIと関連付けて説明さ れていたので、非常に分かりやすかったと思います.

(長山知由理)

- ■ビッグデータや知識ベースを扱うときに、データ共 有のための統一的な標準仕様は IMI 以外にあるのでしょ うか? 「理由」とか「根拠」とか,情報同士のつなが りを記述できるものをテーマとして入門講座をお願い したいです. (匿名希望)
- LOD の進展に驚きました. 学術系や図書館等だけで なく、応用、利用の活動の広がりが取り上げられてい たのが良かったです. 2年後の後続特集にも期待します. (居名希望)

シニアコラム「IT 好き放題:神話」については、以下のよう なご意見・ご感想をいただきました.

- ■シニアの立場からの「神話を作り出すのに力を注ぐ べき」という提言は、無責任にも思えた. (匿名希望)
- ■新しい技術に対する過剰な恐れに感じた. (後藤祐一)

小特集「乗り物の情報セキュリティと安全性」については、以下 のようなご意見・ご感想をいただきました.

■自動車の安全性と情報セキュリティは、システムの 高度化によって、新しい段階に入っていると理解した. やはり車だけで安全性を確保するのは難しく、ガード レールや分離帯があるように、利用者でもある社会や 住民が対策を受け入れ実装していかなくてはならない と思う、それでも、悪意のある攻撃への対応策には費 用がかかりそうだ. (匿名希望)

#### 「2. セーフティとセキュリティ」

■セーフティとセキュリティの違いを改めて考えさせ られました. 今後, 自動運転が加速すると思われるので, このような視点が重要と考えます. (匿名希望)

「5. 乗り物のハッキングと安全性」

■具体的なセキュリティ事例が書かれていて興味深く 拝見しました. (居名希望)

解説「情報処理と公衆衛生」については、以下のようなご意見・ ご感想をいただきました.

- ■インフルエンザに関しては薬局サーベイランスが日 報を出しており、それに言及せずに正の字を OCR で読 み取るという考えを披露するのはいかがなものかと思 う. 最近の動向を正しく伝えるべき. (匿名希望)
- ■非常に重要な視点だと感じます、このような声が、 もっとほかの分野からも出てきてほしいものです.

(匿名希望)

- ■もっと詳しく知りたいので、特集記事を希望します. (匿名希望)
- ■医療,介護,健康といった場でのITの活用に,個人 的にも関心がありますし、社会的要請、期待も大きい ように感じます. ぜひ, 特集を組んでいただきたいと 思います。 (居名希望)

連載「古機巡礼/二進伝心:オーラルヒストリー:矢島脩三氏 インタビュー」については、以下のようなご意見・ご感想をい ただきました.

■分量も多いので、話し言葉そのままでなく、もっと 大胆に手を入れたり、あるいはインタビュー後記を入 れて,記録の価値を強調するなど,より読みやすさを 追求してもいいかなと思います. (山田菊子)

連載「女子部が行く!:事務局」については、以下のようなご 意見・ご感想をいただきました.

■企画意図がよく分かりません. 女子会員が記事の執筆 者となることが目的なのか、女子の視点での記事を作る ことが目的なのか、女子会員を増やすことが目的なのか、 何が目的なのかが伝わってきません.

■事務局のことが紹介されていたのが良かった. どの ような人たちが学会を支えてくれているのかが見えた のが良かった. (居名希望)

会議レポート「第20回情報処理学会シンポジウム インタラ クション 2016 参加報告」については、以下のようなご意見・ ご感想をいただきました.

■参加していない者にとっては、まったく中身が分か らない内容だった. (匿名希望)

連載「会誌編集委員会女子部」については、以下のようなご意 見・ご感想をいただきました.

■男女問わず「育児との兼業研究者」や「新米・若手 研究者」等の視点でもよいのではないでしょうか.

(匿名希望)

■がんばっていらっしゃるのは分かるのだけど「女子 部」と入っている記事の狙いがよく分からない. 女性 会員の方に余計に負荷をかけているのではないかと感 じて、居心地の悪さを感じてしまう. (後藤祐一)

連載漫画「IT 日和」については、以下のようなご意見・ご感 想をいただきました.

- ■ネタとしてのインパクトが弱い. (匿名希望)
- ■面白かったです. (匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただ きました.

■「会員の広場」での、会員の声(意見)が、面白かっ たです.情報学も受験科目の1つにしてくれれば,受 験生でも、プログラミングや情報学を堂々と勉強でき るのに、と思いました. (匿名希望/ジュニア会員)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のよ うなご意見やご要望をお寄せいただきました. 今後の参考にい たします.

- ■研究室配属の時期に論文の書き方・関連研究の調べ 方・口頭発表の仕方など研究の基礎となる事柄につい ての記事があれば、会誌を読むきっかけになり良いか と思います. (匿名希望)
- ■今月号は少し難しかった.(澤 佳祐/ジュニア会員)
- ■会員皆様の活動や、もっといろいろな立場の方のお 考えなどを知ることができるような記事を期待してお ります. また、学会や研究会に潜入レポートなどをして、 各研究会の活動や目指しているものをまとめていただ きたいです. (匿名希望)
- ■ジュニア会員制度により、小学生から読者がいるこ とと思いますので, 若年層にも興味を持ちやすい話題 を取り上げていただきたいと思います.

(佐々木雄司/ジュニア会員)

■会誌の電子版を会員には無料にしてほしい. 逆に紙 媒体の方を有料にすべきであると考えます. (吉田泰光)

【本欄担当 中川香織、谷田英生/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL: http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html > にも掲載しています. Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください. 会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声を お寄せください.

皆様にとって会誌をより役立つものとするため,

- ・記事に対する感想、意見・記事テーマの提案・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております.

なお,「道しるべ」については

<URL: http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> で これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております.

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします.

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめ ご了承ください. なお, 意見の投稿に伴う, 住所, 氏名, 所属などの個人情報については, 学会の プライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします.

<URL: http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 応募先

> 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375 http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html

## ご意見をお寄せ ください!



#### 2016 年度臨時総会の開催について

会長 富田 達夫

正会員の年会費改訂に関し一般規則を改訂するために、臨時総会を下記により開催いたします。臨時総会の案内状は、10 月中旬頃に法律上の社員である代表会員の方々にお送りいたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送下さい。

記

日 時 2016年10月28日(金)15:00~

会 場 化学会館 5F 501 会議室 (〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5)

議 事 正会員の年会費改訂について ※改訂理由につきましては、下記をご参照下さい.

照会先 一般社団法人情報処理学会管理部門

#### 正会員の年会費改訂について

1989 年度に年会費を改訂(正会員 7,200 円→ 9,600 円等)して以来,年会費据え置きのまま 27 年を経過した.この間,本 会の総会員数は 1991 年度の 32,108 名をピークに 2012 年度の 19,015 名まで 21 年間減少が続いた。2012 年度から学生の積極 的な取り込み(学生無料トライアル制度)を推進し、2013、2014年度の総会員数は増加となったものの、正会員の方は正会 員数ピーク世代の高齢化に伴って、1991 年度の 31,164 名から 2015 年度には 15,699 名と約半減し、漸減は依然として続いて いる(前回年会費等改訂時と近年の会員数および収支状況は以下【表1】のとおり).

#### 【表 1】

	1989 年度 (会費改訂時)	1991 年度 (会員数ピーク時)	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度 *2
総会員数	31,456 名	32,108 名	19,015 名	19,314 名	19,624 名	19,099 名	18,926 名
正会員数	30,617 名	31,164 名	16,531 名	16,306 名	16,111 名	15,699 名	15,462 名
学生会員数 1	815 名	917 名	2,449 名	2,975 名	3,477 名	3,363 名	3,425 名
収入	876,940 千円	852,081 千円	650,751 千円	645,012 千円	628,168 千円	636,019 千円	631,737 千円
支出	674,218 千円	789,453 千円	628,382 千円	628,975 千円	625,925 千円	624,018 千円	636,511 千円
収支	202,722 千円	62,628 千円	22,369 千円	16,037 千円	2,243 千円	12,001 千円	-4,774 千円

<sup>\*1:</sup>収支には規格も含む. $2012\sim 2015$  年度の学生会員数には学生無料トライアル(2015 年度よりジュニア会員)も含む.

また,前述の会員数漸減に加えて,さらにこの期間に二度の消費税増税(1997年3%⇒5%,2015年5%⇒8%)が行われたが, 各種実施事業活動における収益増や経費節減等の財務改善ならびに会員サービスの向上に努めてきた(主な活動は以下【表2】 他のとおり).

#### 【表 2】

	1989 年度	1991 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度 (年初予測)
学会誌ページ数	1,700 頁	1,303 頁	1,328 頁	1,322 頁	1,453 頁	1,252 頁	1,300 頁
論文誌ページ数	1,755 頁	1,578 頁	3,566 頁	2,521 頁	2,486 頁	2,371 頁	2,300 頁
全国大会発表件数	817 件	1,038 件	1,406 件	1,378 件	1,401 件	1,456 件	1,400 件
研究会発表件数	828 件	1,154 件	3,133 件	3,435 件	3,246 件	3,139 件	2,900 件

- 学会誌関係では、親しみやすい記事の企画、事務局 DTP 化による経費削減、広告の値上げ、会誌の包装を封筒からビニー ルへ切り替え、会告ページ Web 化により会告冊子版廃止、本誌ページ数の削減等.
- 論文誌関係では,投稿論文処理の電子化,別刷代・購読料の値上げ,全面オンライン出版への切り替え,査読システムの切 り替え等.
- 全国大会関係では、論文集の分冊化、参加費・論文集の値上げ、無料公開セッション開催、電子投稿受付システムの導入、 招待講演・イベント企画セッションの充実等.
- 講習会関係では, 特に産業界に属する会員に向けて連続セミナー, 短期集中セミナー, 産業フォーラムといった各種セミナー

<sup>\*2:2016</sup>年度の各会員数と収支は2016年度定時総会資料の2016年度事業計画および収支予算より.

の開催,産業界向け大型無料シンポジウム ソフトウエアジャパンの開催 (2012 年度より一部有料化),産業界のコミュニティ 形成を目指しIT フォーラム創設、実務者向け機関誌デジタルプラクティスの発行、実務者の資格認定制度として認定情報 技術者制度 (CITP) の創設等.

- 調査研究関係では、計画に基づく研究会登録費算定の導入や、研究会登録の電子化、学生会員の1研究会登録無料化、研究 報告の全面電子化(紙版廃止)等.
- 学会事務所の移転や事務局職員の給与制度・退職金制度の改訂等, 事務局固定費の節減等.

今後の大きな課題として学会情報システムの一新を進める計画である。本部と各支部、研究会を統合したシステムを構築し 情報の一元化を進め、会員各位への更なるサービス向上を図る。また、同時にセキュリティ対策の強化を図ると共に、各種イ ベントのアーカイブ映像を会員限定で閲覧可能とする予定である.

このような背景から、今後も本会の継続的な運営と財務基盤の安定をはかり、更なる会員サービスの向上を目指して27年 間据え置いてきた正会員の年会費改訂を2017年度より実施することとしたい.

#### (以下,一般規則改訂(案))

現行	改訂案	改訂理由
(年会費の額と会誌の配布等) 第8条 正会員の年会費と会誌の配布は次の通りとする。 (1) 次項以外の正会員の年会費は 9,600円とし、会誌を配布する。 (2) 協力協定締結学会正会員の年会費は、当該協力協定による割引率を適用し、会誌を配布する。 (3) 在会40年を経過した正会員が理事会に申請し、これを理事会が認めた場合には、年会費を減免することができる。この場合の年会費の減免と会誌の配布の扱いは別に定める。		⇒今後の安定的・継続的な学会運営,学 会サービス提供の為

#### 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約100名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、 ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の 用紙または Web ページ(http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html)をお使いいただき,奮って事務局までお寄せ ください.

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

### IPSJ カレンダー

開催日		論文等応募	幕締切 日	参加締切日	開催地
	論文誌「ネットワーク科学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-H.html	10月3日	(月)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2016」特集への論文募集	10月28日	(金)		
	http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-T.html 論文誌「離散と計算の幾何・グラフ・ゲーム」特集への論文募集	10月31日	(月)		
	http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-N.html 会誌「情報処理」58巻表紙デザイン募集	11月4日	(金)		
	http://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/design-boshu58.html デジタルプラクティス「IoTシステムと組込み技術」特集論文	11月7日	(月)		
	募集 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0803s.html 論文誌「高度化するサイバー攻撃に対応するコンピュータ	11 🗆 05 🗆	· (A)		
	セキュリティ技術」特集への論文募集	11月25日	(金)		
9月13日 (火) ~ 9月15日 (木)	http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-R.html 第9回Webとデータベースに関するフォーラム(WebDBForum20 http://db-event.jpn.org/webdbf2016/index.html	016)			慶應義塾大学 日吉キャンパス
9月13日 (水) ~ 9月15日 (木)	第163回データベースシステム・第123回情報基礎と アクセス技術合同研究発表会	8月12日	(金)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
9月14日 (水)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs163ifat123.html 第66回高度交通システムとスマートコミュニティー研究発表会	7月13日	(ək)	 当日のみ	日本大学
9月14日 (水) ~	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its66.html 第8回コラボレーション技術に関する国際会議(CollabTech2016)		()()	= 11000	取河台キャンパス 石川県政記念しいのき
9月16日(金)	http://www.collabtech.org/				迎賓館
9月14日(水)~ 9月16日(金)	DA シンポジウム 2016 ―システムと LSI の設計技術― http://www.sig-sldm.org/das/	7月1日	(金)	8月19日(金)	山代温泉ゆのくに天祥
9月15日 (木) ~ 9月16日 (金)	第156回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 (HOKKE-23)	7月19日	(火)	当日のみ	小樽経済センター
9月16日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc156.html 第110回数理モデル化と問題解決研究発表会	7月22日	(金)	当日のみ	奈良女子大学
月17日 (土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps110.html 平成28年度電気関連学会四国支部連合大会 http://www.sjciee.org/	7月22日	(金)		徳島大学常三島 キャンパス
9月21日 (水)	第164回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学 研究発表会	8月24日	(水)	当日のみ	(株) スクウェア・エ ニックス本社
9月23日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg164.html 第159回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al159.html	7月20日	(水)	当日のみ	徳島大学
9月23日 (金) ~ 9月24日 (土)	第35回インターネットと運用技術・第20回セキュリティ 心理学とトラスト合同研究発表会	7月19日	(火)	当日のみ	静岡大学浜松 キャンパス
9月26日 (月)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot35spt20.html 関西支部支部大会 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2016/	6月17日		当日可 事前登録(Web申込): 2016年9月15日17:00ま	
9月28日 (水)	第47回バイオ情報学研究発表会	8月20日		当日のみ	産業技術総合研究所
9月29日 (木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio47.html 東海支部主催講演会「障害者支援と情報技術」				臨海副都心センター 大同大学
9月29日 (木) ~	http://www.ipsj-tokai.jp/ 平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会	7月13日	(水)		(愛知県名古屋市) 宮崎大学
9月30日(金) 9月29日(木)~	http://www.jceee-kyushu.jp/ 第228回自然言語処理研究発表会	8月22日	(月)	当日のみ	(木花キャンパス) 大阪大学吹田キャン
9月30日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl228.html		(/3/		パス銀杏会館
9月30日(金)	連続セミナー 2016 第3回「スマートなヘルスケアとライフケア」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html			定員になり次第	日本大学理工学部駿河 台校舎1号館/ 大阪大学中之島センター
10月1日 (土)	情報処理北海道シンポジウム 2016 http://hokkaido.ipsj.or.jp/info2016/	9月2日	(金)		釧路公立大学
10月4日 (火) ~ 10月6日 (木)	第9回モバイルコンピューティングとユビキタスネットワークに関http://www.icmu.org/icmu2016/	する国際	会議(]	CMU2016)	DFKIKaiserslautern, Germany
10月6日 (木)	第113回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp113.html	8月19日		当日のみ	早稲田大学
0月6日(木)	第 214 回システム・アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc214.html	8月22日		当日のみ	幕張メッセ国際会議場
10月11日 (火) ~ 10月13日 (木)	コンピュータセキュリテイシンポジウム 2016(CSS2016) http://www.iwsec.org/css/2016/	7月25日	(月)	早期割引料金は 8月26日,通常料 金は9月16日まで	秋田キャッスルホテル
10月15日 (土)	第113回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus113.html	8月18日		当日のみ	石川県 国民宿舎能登 能登小牧台
10月15日 (土) ~	第136回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce136.html	8月29日	(月)	当日のみ	青山学院大学 相模原キャンパス
10月16日(日) 10月17日(月)	SOUPS2016論文読破会				セコム (株)

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
10月19日 (水)	~ マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS2016)	6月18日 (土)		プラザホテル山麓荘
10月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2016.html			(秋田県田沢湖)
10月20日 (木)	~ 組込みシステムシンポジウム 2016 (ESS2016)			早稲田大学
10月22日 (土)	http://www.sigemb.jp/ESS/2016/			
10月22日 (土)	平成28年度(第67回)電気・情報関連学会中国支部連合大会	8月19日(金)		広島大学工学部
	http://rentai-chugoku.org/index.html			東広島キャンパス
10月26日 (水)	~ 第111回プログラミング研究発表会	8月26日(金)	当日のみ	日本アイ・ビー・エム
10月27日 (木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro110.html	· / • - · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		(株) 本社事業所
10月28日 (金)	臨時総会			化学会館
	http://www.ipsj.or.jp/topics/soukai20161028.html			10.7 21.74
10月28日 (金)	連続セミナー 2016 第4回「広がりを見せる IoT の現状と今後の	)展望	定員になり次第	日本大学理工学部駿河
10/,1=0 [ (31)	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html	7,20	765(1-00 ) (10)	台校舎1号館/
	intpi, , www.ipolionjp, event, seminar, 2010, indestina			大阪大学中之島センター
10月29日 (土)	第112回人文科学とコンピュータ	8月29日(月)	当日のみ	同志社大学室町キャン
10/12/11 (11/	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch112.html	0/12/11 (/1/	- H - 7 - 7	パス(京都府)
11月4日 (全)	~ ゲームプログラミングワークショップ 2016 (GPW-16)			軽井沢学習研修所
11月6日(日)	http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/			(予定)
	- 第165回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学・	9月9日(金)	当日のみ	九州大学
11月10日(木)	第14回デジタルコンテンツクリエーション・	3/13日 (亚/	= 11 4767	医学部百年講堂
11 / 10 [ (/ )/	第204回コンピュータビジョンとイメージメディア合同研究発	<b></b>		区于即日十两至
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg165dcc14cvim204.l			
11 日 11 日 (会)	mtp://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg165dcc14cvim204.i   ~第43回組込みシステム研究発表会	9月30日(金)	当日のみ	 九州大学
11月11日(並)		9月30日(並)	ヨロのみ	伊都キャンパス
11月12日 (工)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb43.html ~エンタテインメントコンピューティングシンポジウム (EC201	()	当日可	<u>伊郁ヤヤンハム</u> グランフロント大阪・
		6)	ヨロリ	
11月14日 (月)	http://ec2016.entcomp.org/index.php		ウロロナ かん然	相愛大学
11月15日 (火)	連続セミナー 2016 第5回「メディアアート」		定員になり次第	化学会館/
44 🖽 4 🖽 🖂 (-14)	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html	0 11 0 ( 11 )	V II 0 7	大阪大学中之島センター
	~第194回ソフトウェア工学研究発表会	9月26日 (月)	当日のみ	長良川国際会議場
11月18日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se194.html	0 11 0 11 (A)		+
	~グループウェアとネットワークサービスワークショップ	9月9日(金)		草津温泉ホテル&
11月19日 (土)	2016 (GNWS2016)			スパリゾート中沢
	http://www.ipsj.or.jp/sig/gw/gnws2016/			ヴィレッジ
	~コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2016)			法政大学市ヶ谷
11月30日 (水)	http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys	(-)	ita mari in ini	キャンパス
	~第215回システム・アーキテクチャ研究発表会	9月4日(日)	当日のみ	立命館大学大阪
11月30日 (水)	(デザインガイア <b>2016</b> )			らきキャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc215.html			
	~第177回システムとLSIの設計技術研究発表会	9月4日(日)	当日のみ	立命館大学大阪
11月30日 (水)	(デザインガイア <b>2016</b> )			いばらきキャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm177.html	- (1)		
	~ 第9回インターネットと運用技術シンポジウム(IOTS2016)	9月7日(水)	11月24日 (木)	福山大学宮地茂記念館
12月2日(金)	http://www.iot.ipsj.or.jp/iots/2016		定員になり次第	(広島県福山市)
	~ 人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん 2016」	9月8日(木)	当日可	国文学研究資料館・
12月11日 (日)	http://www.iot.ipsj.or.jp/iots			国立国語研究所
12月22日 (木)	連続セミナー 2016 第6回「フィンテック~ブロックチェインの	D理解と応用~」	定員になり次第	化学会館/
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html			大阪大学中之島センター
2017年				
3月16日(木)	~ 情報処理学会第79回全国大会			名古屋大学
3月18日 (土)	http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/			東山キャンパス

#### Web ページ(http://www.ipsj.or.jp/)更新情報

#### [トピックス] 8月19日 デジタルプラクティス「IoTシステムと組込み技術」特集論文募集 8月15日 人材募集情報 (Vol.57 No.9) 8月15日 会誌「情報処理」Web カタログ(Vol.57 No.9) 研究会推薦博士論文速報公開しました 8月15日 8月12日 デジタルプラクティス「IoT システムと組込み技術」特集論文募集 8月05日 Info-WorkPlace 委員会 ホームページできました! 2016 年度情報処理学会フェロー候補者推薦募集 8月01日 8月01日 2016年度マイクロソフト情報学研究賞候補者推薦募集

# 人材募集



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書に記載する「宛名」

Web 掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿([募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当 科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ

E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください.

\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください.

申込期限:毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します.

掲載料金: 国公私立教育機関, 国公立研究機関 税抜 20,000 円 (税込 21,600 円) 賛助会員(企業) 税抜 30,000 円 (税込 32,400 円) 税抜 50.000 円 (税込 54.000 円) 替助会員以外の企業

\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金税抜4,000円(税込4,320円)で同一内容を

本会 Web ページに掲載できます。

**申 込 先**:情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています. もし返信がない場合は念の ため確認のご連絡をください

#### \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

#### ■東京都市大学知識工学部経営システム工学科

募集人員 教授 1名(常勤)

専門分野 市場分析, ビッグデータ, 多変量解析, 数理的解析

担当予定科目 【学部】データマイニング、マーケティングサイエンス等、【大学院】多変量解析特論、統計工学特論等

(1)博士の学位を有していること、(2)大学院博士課程の研究指導資格を取得できる業績を有していること、(3) 当該分野に関して 十分な見識を有していること、(4) 学部学生および大学院生の指導、教育に熱意を持ち、かつ学科、専攻の将来を長期的に担える

こと、(5)経営システム工学関連の競争的資金に対して積極的に立案・申請し、プロジェクトマネージメントができること

着任時期 2017年4月1日

(1)履歴書(E-mail アドレスを必ず記入), 教歴年月, 学歴, 職歴, 学会歴, 社会歴, 受賞歴等を含む, (2)業績リスト(a)研究業績: 提出書類

次の分類にて整理(著書: 単著,編著,共著の別)、(b)学術論文: 学会論文(審査あり・なし別)、国際会議論文(審査あり・なし別)、 その他(依頼論文、紀要別)、(c) その他(学会以外の研究発表、新聞・雑誌、報告書、その他別)(注) 最新のものより、番号を付 けて記載のこと、(3)主要論文別刷(5編以内、コピー可)、著書、(表紙、目次のコピー可)、本人関連の新聞記事(コピー可)など、(4) 教育実績および組織内業務等の実績\*、(5)社会貢献活動(学会・協会等活動,地域貢献等)実績\*、(6)着任後の教育・研究に対す る計画と抱負\*\*、(7)当方からの照会に対応可能な方の氏名、連絡先、応募者との関係を記載したもの(海外2名、国内3名の計5名)

選考過程において、上記の方に当方より応募者について照会いたします ※はいずれもA4用紙1枚程度

応募締切 2016年10月20日(必着)

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 東京都市大学知識工学部経営システム工学科 主任教授 森 博彦 送付先/昭会先

 $\hbox{E-mail: hmori@tcu.ac.jp} \quad \hbox{Tel(03)5707-0104} \quad (ext.3420)$ 

「応募書類」と朱書し簡易書留

選考方法:(1)一次選考:書類選考,(2)二次選考:一次選考合格者に対してのみ面接・模擬授業 その他

※なお、面接・模擬授業に要する旅費は支給いたしません

詳細はWebページ (http://www.tcu.ac.jp/recruitinformation/index.html#b3)またはJREC-INをご参照ください

#### ■岡山県工業技術センター

募集人員 研究職員 1名

専門分野 情報システム分野

1982年4月2日以降に生まれた方、大学院博士前期課程(修士課程)において、電子情報システム工学、情報ネットワーク工学、通 受験資格

信情報システム、情報工学または計測工学の専攻を修め、修士等と称することを得る方または取得見込みの方

着任時期 2017年4月の予定

応募締切 2016年10月21日(必着)

〒701-1296 岡山県岡山市北区芳賀5301 岡山県工業技術センター 総務課 送付先/照会先

E-mail: kougi-info@pref.okayama.lg.jp Tel(086)286-9600 (代表)

応募方法は岡山県工業技術センター公式Webページ (http://www.pref.okayama.jp/sangyo/kougi/index.html) の採用試験の受験案内 をご覧ください(9月20日頃掲載の予定)

#### ■茨城大学工学部情報工学科

募集人員 准教授 1名

経営情報学分野(情報科学にも精通) 専門分野

経営情報、ICTソリューションや数理統計など、教養科目や他学科の科目を担当していただく場合があります 担当予定科目

応募資格 博士学位を有し、教育に熱意を持って取り組める方、博士後期課程を担当でき、着任後速やかに博士前期課程の研究指導ができ

る方が望ましい。男女共同参画社会基本法の趣旨に則り女性の積極的な応募を歓迎します

着任時期 2017年4月1日

提出書類 下記の詳細Webページの採用案内にてご確認ください

応募締切 2016年10月31日(必着)

照 会 先 情報工学領域 上田賀一 E-mail: yoshikazu.ueda.se@vc.ibaraki.ac.jp Tel(0294)38-5139

その他 詳細はWebページ (http://www.ibaraki.ac.jp/employment/)をご覧ください

#### ■茨城大学工学部情報工学科

募集人員 助教 1名(テニュアトラック)

ソフトウェア工学分野 (OSSやWebサービスに精通) 専門分野

プログラミング演習、ソフトウェア開発演習など、教養科目や他学科の科目を担当していただく場合があります 担当予定科目

博士学位(取得見込みを含む)を有し、教育に熱意を持って取り組める方、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り女性の積極的な 応募資格

応募を歓迎します

着任時期 2017年4月1日

提出書類 下記の詳細Webページの採用案内にてご確認ください

応募締切 2016年10月31日(必着)

情報工学領域 上田賀一 E-mail: yoshikazu.ueda.se@vc.ibaraki.ac.jp Tel(0294)38-5139

その他 詳細はWebページ (http://www.ibaraki.ac.jp/employment/)をご覧ください

#### ■大阪市立大学大学院工学研究科

募集人員 教授 1名

属 電子情報系専攻情報通信領域

専門分野 情報処理工学にかかわる分野(特に、統計学的手法を用いたデータ解析およびデータ科学分野)

(大学院)信号理論特論や情報処理工学に関する最先端の方法論や理論に関する講義 担当科目

(学 部)情報理論やパターン認識工学に関する講義および情報処理工学に関する演習

・博士の学位を有すること、・大学院博士前期課程・後期課程において主指導教員として教育研究指導ができること、・情報処理工 応募資格

学にかかわる分野、特にデータ解析やデータ科学分野で優れた研究業績を上げていること

着任時期 2017年4月1日

提出書類 「その他」に記載されたWebページでご確認ください

応募締切 2016年10月31日(必着)

送 付 先 〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3-3-138 公立大学法人大阪市立大学 法人運営本部 人事課

照 会 先 情報通信領域 教授 原 晋介 E-mail: hara \* info.eng.osaka-cu.ac.jp(\*を@に変えてください)

その他 詳細はWebページ (http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/jobs/jobs\_faculty/faculty) をご覧ください

#### ■岐阜大学工学部機械工学科

募集人員 助教 1名(テニュアトラック)

知能機械コース メカトロシステム工学講座 所 属

機械・ロボットの知能化・最適化技術・音声認識・認知科学・意思決定などの関連分野 専門分野

機械工学系の実験・実習・演習などの専門科目、数学系・力学系の基礎・教養科目の複数を担当していただく 担当予定科目

(1)博士の学位あるいはPh.Dを有する方(もしくは取得見込みの方),(2)専門分野で業績のある方,(3)外国人の場合 には、学内諸業務の遂行が可能な日本語能力を有する方、(4) 2017年3月31日時点で35歳未満の方、(5)任期5年、最終年度の評

価に応じて任期なしの職員となる。(6)年俸制

着任時期 2017年1月1日以降のできる限り早い時期

応募締切 2016年10月31日(必着)

知能機械コースメカトロシステム工学講座 山田貴孝 E-mail: yamat@gifu-u.ac.jp Tel(058)293-2515 昭会先

その他 選考方法:書類選考後 面接を実施します

細:JREC-IN/岐阜大学 (https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D116080030&ln\_jor=0)を参照ください

#### ■大分大学工学部知能情報システム工学科

募集人員 准教授 1名

属 知能システム講座

データ工学(ビッグデータ利活用の基盤となる大規模データベースや分散データベース、クラウドコンピューティングなど) 専門分野

データベースシステムやソフトウェア工学などの関連科目. 大学院工学研究科の専門科目 担当科目

(1) 専門分野で博士またはPh.D.の学位を有する方, (2) 専門分野に業績があり, 大学院博士後期課程の授業を担当できる方が望ま 応募資格 しい。(3)情報工学にかかわる研究に熱意があり、海外の情勢を反映した新しい研究分野にも挑戦できる意欲を持続できる方。(4) 学生に対する教育・指導にも強い使命感と責任感を持って取り組まれる方。(5)大学、学部、学科における管理・運営の業務にも 積極的に貢献される方。(6)医工連携や地域連携活動、外部資金獲得に積極的に取り組まれる方

着任時期 2017年2月1日以降のできるだけ早い時期

(1) 個人調書(様式は工学部Webページの教員公募からダウンロードし、記載例を参考に作成してください), (2) 教育および学生 提出書類

指導に対する考えや抱負(A4用紙1~2枚程度), (3)今後の研究計画(A4用紙1~2枚程度), (4)主要論文別刷(5編, コピー可),

(5)応募者について問合せができる方2名の氏名と連絡先および応募者との関係

※選考状況により別途書類の提出をお願いすることがあります

応募締切 2016年11月1日(必着)

〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700 大分大学工学部総務係 係長 高野靖信 送付先

「知能システム講座教員応募書類」と朱書し簡易書留

照 会 先 知能情報システム工学科 教授 中島 誠 E-mail: nakasima@oita-u.ac.jp Tel(097)554-7884

詳細については、必ず工学部Webページ (http://www2.cc.oita-u.ac.jp/eng/koubo.html)をご参照ください その他

#### ■早稲田大学基幹理工学部情報理工学科

募集人員 専任教員(教授、准教授または講師) 1名(ただし定年に達するまでに10年以上専任教員として勤続可能でない場合、任期付教 員(教授、准教授または講師)としての嘱任となります)

属 基幹理工学研究科情報理工·情報通信専攻

専門分野 情報学に関する深いバックグラウンドを持つだけでなく、情報学が利用される幅広い分野において新たな研究対象や方法の開拓 を行い、それを通じて既存研究分野の融合や新研究分野の創成を推進する意欲のある方

担当科目 学部教育として、プログラミング、オペレーティングシステム、人工知能、アルゴリズムとデータ構造など、本学科・専攻設置 科目のうちいくつかを担当していただきます。これらの科目は、日本語による授業とともに英語による授業も実施していただき ます、上記を含み、学部と大学院に対して複数の科目、実験の担当があります

応募資格 博士の学位を有し、大学における教育研究に熱意があり、日本語および英語による、学部・大学院での講義・研究指導ができること 海外留学もしくは海外勤務経験を持つことが望ましい

2017年9月21日、またはそれ以降のなるべく早い時期 着仟時期

2016年12月22日(必着) 応嘉締切

〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 早稲田大学理工学術院基幹理工学部情報理工学科 連絡事務室 送 付 先

情報理工学科 主任 教授 菅原俊治 E-mail: sugawara@waseda.jp 照会先

提出書類・その他 Webページ (http://www.cs.waseda.ac.jp/wp-content/uploads/2016/07/adv2016.pdf) をご覧ください

# 10月より入会承認のプロセスが変わります

すでに Web 等でお知らせしたとおり、新規入会については、2016 年 10 月 1 日受付分より入会承認のプロセ スが変更となりますのでご注意ください.詳細は下記 URL をご覧ください.

【重要】新規入会時の手順および会費請求方法の変更について(2016.5.18) http://www.ipsj.or.jp/member/nyukai\_tejunhenko.html

- ・入会会費は年度額を請求します. 2016 年度会費[正会員: 9,600 円, 学生会員: 4,800 円]
- ・年度途中からの入会でも、翌年度への繰越はありません、新年度は4月からスタートします。
- ・指定期日または1カ月以内に入会会費の納入が確認できなかった場合には,入会をキャンセルしたとみなします.

### ■入会承認プロセス

変更箇所は下線のとおり. ( )内は作業者、<>内は手段を示します.

STEP 1

入会申込書送信 (入会希望者)



STEP 2 仮会員番号通知 (事務局) <メール>



STEP 3 請求書発行 (事務局) <郵送orメール>



STEP 4 会費納入 (入会希望者) \*指定期日まで



STEP 5

入会承認 (理事会) \*会費納入者のみ



STEP 6 会員番号通知 (事務局) <郵送&メール>



STEP 7 電子図書館ユーザ登録案内 (事務局) <メール>



STEP 8

学会誌送付 (事務局) <郵送>

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門 Tel.(03)3518-8370 E-mail: mem@ipsj.or.jp



フォロー・ リツイート お願いします

#### ◎twitter で情報発信中!

情報処理学会ツイッター▶ @IPSJcom

ソフトウェア工学研究会▶ @IPSJ\_SIGSE

ハイパフォーマンスコンピューティング研究会▶ @HpcCommittee

ヒューマンコンピュータインタラクション研究会▶ @ipsj\_sighci

情報基礎とアクセス技術研究会▶ @sigifat

オーディオビジュアル複合情報処理研究会▶ @ipsj\_avm

モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会▶ @ipsj\_sigmbl

インターネットと運用技術研究会▶ @IPSJ\_SIGIOT

自然言語処理研究会▶ @ipsj\_signl

コンピュータと教育研究会▶ @ipsjce

音楽情報科学研究会▶ @ipsj\_sigmus

エンタテインメントコンピューティング研究会▶ @ipsj\_sigec

バイオ情報学研究会▶ @sigbiojapan



いいね!・ シェア お願いします

◎Facebook で情報発信中! 「情報処理学会ページ www.facebook.com/IPSJcom

システム・アーキテクチャ研究会 www.facebook.com/groups/ipsj.sigarc/ システムソフトウェアと オペレーティング・システム研究会 www.facebook.com/groups/ipsj.sigos/ モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム研究会 www.facebook.com/IPSJ.SIG.MBL

インターネットと運用技術研究会 www.facebook.com/ipsjiot

コンシューマ・デバイス&システム研究会 www.facebook.com/sig.cds

電子化知的財産・社会基盤研究会 www.facebook.com/eipjp

会員の力を社会につなげる研究グループ www.facebook.com/ssr.ipsi

# 情報処理学会 第 79 回全国大会

# 一般セッション・学生セッション 講演募集案内

【会期】2017年3月16日(木)~18日(土)

【会場】名古屋大学 東山キャンパス (名古屋市千種区不老町)

【共催】名古屋大学大学院工学研究科・情報科学研究科 【Web サイト】http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/index.html

情報処理学会では、第79回全国大会の一般セッション・学生セッ ションの講演申込受付を以下のとおり行います。

毎回1,200件を超える発表申込をいただき活発な議論、意見交換、 交流が行われております。皆様の研究成果発表の場として、是非とも 奮ってお申込ください。

#### 〔募集分野〕

以下の分野で募集を行う予定です。

詳しくは第79回全国大会Webサイトをご覧ください。

- 1. コンピュータシステム
- 2. ソフトウェア科学・工学
- 3. データとウェブ
- 4. 人工知能と認知科学
- 5. ネットワーク
- 6. セキュリティ
- 7. インタフェース
- 8. コンピュータと人間社会

#### 〔講演募集内容と使用言語〕

- 1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。 (情報技術の学術・技術の振興に寄与する研究成果の発表)
- 2. 発表は日本語または英語とします。

#### 〔講演申込資格〕

申込種別	資 格
一般セッション	不問
学生セッション	高専・大学学部・修士(博士前期課程)在学者

#### 〔講演時間(質疑応答含む)、論文頁数〕

講演申込種別	講演時間	原稿頁
一般セッション	20 分	2頁
学生セッション	15 分	2頁

#### 〔講演申込・原稿投稿日程〕

講演申込・原稿投稿受付開始:2016年10月3日(月)(予定) 講演申込·修正·取消締切日:2016年12月2日(金) 原稿投稿・差換え締切日 : 2017年1月13日(金)

#### 〔講演申込・原稿投稿方法〕

講演申込、原稿投稿は、標記の第79回全国大会Webサイトからお願 いいたします。

#### 〔講演申込にあたっての注意事項〕

- \*講演申込は講演発表者ご本人様で行ってください。
- \*講演申込締切後の申込情報変更は、一切受付けません。
- \*講演の代理(代読)は原則として認めません。
- \*講演キャンセルの連絡は、必ず電子メールにて [ipsj79@gakkai-web.net] までお願い致します。
- \*講演申込登録締切後に講演をキャンセルされましても、講演参加費 および論文集代(希望者のみ)はお支払いいただくことになります のでご注意ください。
- \*講演申込登録をされた情報のうち書誌情報(標題、講演者および共 著者の名前・所属、論文要旨)、および原稿は、情報処理学会電子 図書館(情報学広場)に掲載いたしますので予めご承知置き下さい。 なお、掲載時期は論文の公知日(大会初日)から3カ月経過以降の 予定です。

#### [講演機器]

講演機器は、プロジェクタになります。接続ケーブルは、D-sub15ミ ニピンです。ノートPCは、準備しておりませんので各自で必ずご持 参願います。

#### [講演参加費・講演論文集代(税込)]

申込種別	会員種別	費用(税込み)
40	正会員	10,300 円
一般セッション	学生会員	6,200 円
子生セッション   (1 件の申込につき)	一般非会員	25,800 円
	学生非会員	15,500 円
講演論文集 (希望者のみ)	全会員種別	8,300 円

- \*ジュニア会員の講演参加費用は無料です。
- \*会員とは、講演者が本会の会員番号をお持ちの個人会員の方です。
- \*電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ち の個人会員の方は会員費用で申し込めます。
- \*講演参加費には、講演料、大会参加費、プログラム冊子、全論文収 録の DVD-ROM が含まれます(論文の別刷は前大会から廃止にな りました)。
- \*講演者の方には、ご自身の論文が掲載されている講演論文集1部に 限り、講演申込同時予約販売をいたします。ご希望の方は、講演申 込フォームの講演論文集欄を「希望する」にチェックしてください。
- \*上記の講演参加費は、1件の申込に対しての費用ですので、複数件 講演申込する場合には講演参加費×申込件数分の講演参加費が必要 となります。

#### ◆会員価格での参加について:入会承認のプロセスが変わりますので、 で注意ください!

2016年10月1日より、当会入会承認のプロセスが変わります。

- 入会締切: 2016年12月9日(金)
- 仮会員番号が発行されます。会員番号入力欄には仮会員番号を入力 してください
- 入会に伴う会費のお支払いは12月末日までにお願いします
- ※ 2016年10月1日より、月割ではなく年度額をお支払いいただくこ とになりました。詳しくは本誌 1055 ページをご覧ください。
- ※今大会(79大会)より、入会申請中での会員価格での講演申込みは 廃止になりました。

#### 〔表彰について〕

全国大会では、発表された論文の中から優秀な論文、発表に対して以 下の賞を贈呈しております。それぞれの賞の受賞対象は、当会の個人 会員に限りますので、非会員の方は当会にご入会の上、講演申込みを していただくことをお勧めいたします。

※第78 同大会より選出方法が変更になりました。

賞の種類	受賞者				
大会優秀賞	全国大会で発表された当会の会員で、特に優秀 な論文の登壇発表者 10 名以内。				
大会奨励賞	全国大会で発表された当会の会員で、学部生また は学部在学から卒業後10年までの新進の科学者 または技術者で、大会優秀賞の対象とならなかっ た論文の登壇発表者10名以内。				
学生奨励賞	全国大会で発表された当会の会員で、学生セッションで発表された中から、優秀な発表をした方各2名以内。大会のローカルアワードとして授与(該当なしの場合もあり)。				

#### 〔大会最新情報の掲載〕

講演申込に関する詳細、大会で開催予定の招待講演、イベント企画セ ッション等の詳細は、第79回全国大会 Web サイトへ逐一掲載してま いりますのでご確認ください。

#### 〔問合せ先〕

般社団法人情報処理学会 事業部門 Tel.03-3518-8373 Fax.03-3518-8375 E-mail: jigyo@ipsj.or.jp

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書(論文募集,参加案内等)の本誌掲載については、下記により有料にて 取り扱っていますのでお知らせします。

記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金		
論文募集/	国際会議,シンポジウム,ワークショップ,講演会,講習会などの論文募集・ 参加者募集	1ページ, 1/2ページ または 1/4ページ	(主催·共催)		
参加者募集			1ページ	50,000 円 (税込 54,000 円)	
			1/2ページ	30,000 円 (税込 32,400 円)	
			1/4ページ	20,000 円 (税込 21,600 円)	
			(協賛)		
			広告として取り扱う		
人材募集	国公私立教育機関, 国公立研究機関,	10 行程度	国公私立教育機関, 国公立研究機関	20,000 円 (税込 21,600 円)	
	企業の人材募集		賛助会員 (企業)	30,000 円 (税込 32,400 円)	
			賛助会員以外の企業	50,000 円 (税込 54,000 円)	
	*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に	限り,追加料金 4,000 円	] (税込4,320円) で同一内容を本会 Web	ページに掲載できます.	

■申込方法 任意の用紙に, 件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web 掲載の有無 (人材募集のみ) などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

A4 判カメラレディまたは PDF ファイル (フォント埋め込み) とします. ●行事次第書:

> (1ページ) 天地 260mm×左右 175mm (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm

\* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご留意ください.

●人 材 募 集: 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください.

[募集職種,募集人員、(所属),専門分野、(担当科目),応募資格,着任時期,提出書類,応募締切,送付先,

照会先]

\*なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください.

■申込期限 毎月15日を締切日とし、翌月号(15日発行)に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3カ月以内にお支払いください.

■掲載申込先 一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係)

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375



#### 論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.57 No.9 (Sep. 2016)



#### 【特集:社会の変革に挑戦するセキュリティ技術とプライバシー保 護技術】

- 特集「社会の変革に挑戦するセキュリティ技術とプライバシー 保護技術」の編集にあたって 寺田雅之
- 匿名加工・再識別コンテスト Ice and Fire: 匿名加工方式とその 安全性を評価する試み
- Software Library for Ciphertext/Key-Policy Functional Encryption with Simple Usability Keisuke Hasegawa 他
- New General Secret Sharing Scheme Based on Unauthorized Subsets: Improvement of Information Rates for Specified **Participants** Kouva Tochikubo
- 時間領域へのウェーブレットフィルタの加減算による音響電子 透かしの提案
- ステガノグラフィ(ANGO)の特性とテンプレートマッチング への応用に関する研究 石塚裕一 他
- Design of Function for Tracing Diffusion of Classified Information for IPC on KVM\* Shota Fujii 他
- 最新分岐記録により ROPGuard 回避を防止する手法の提案\* 岡本 副 他

- プロセス情報と関連づけた通信情報保全手法の提案
  - 三村聡志 他
- Locimetric 型メンタルローテーション CAPTCHA 藤田真浩 他
- 多値セル型二次元コードでの多分割領域への複数ユーザのアク セス制御 寺浦信之 他
- Detection of the DNS Water Torture Attack by Analyzing Features of the Subdomain Name Yuva Takeuchi 他
- Defense Method of HTTP GET Flood Attack by Adaptively Controlling Server Resources Depending on Different Attack Intensity Ryotaro Kobayashi 他
- 早期インシデント対応を目的とした DRDoS 攻撃アラートシステム 牧田大佑 他
- 通信プロトコルのヘッダの特徴に基づく不正通信の検知手法\*

小出 驗 他

- 統計的方法を用いた未知マルウェア検出手法の提案と評価\* 田中恭之 他
- マルウェア解析向け通信制御システムの開発 重本倫宏 他
- マルウェア感染ホストへのリモート再侵入により感染拡大を阻 止する手法 田辺瑠偉 他
- Zipf Distribution Model for Quantifying Risk of Re-identification from Trajectory Data Hiroaki Kikuchi 他
- 累乗近似式を用いた k- 匿名化処理の効率化 小栗秀暢 他
- 内部構造区画化によるプライバシに準拠した Android アプリ開 小林真也 他
- 利用者による個人情報保護手法の決定を可能とするフレーム ワークの提案す 松永崇秀 他
- e ラーニングをモデルとした内部犯行の予測因子の識別

新原功一 他

- サイバー攻撃の侵入経路を考慮したセキュリティリスク評価技術 杉本暁彦 他
- セキュリティ管理におけるサイバーリスク保険の有効性評価 石川朝久 他
- デルタ ISMS モデルの提案―事故データベースに基づく全社的 情報セキュリティマネジメントの強化-
- クラウドシステムの運用時における動的セキュリティ評価方式 の開発と評価 関根基晴 他

#### 【一般論文】

- アダマール符号を用いたグラフカーネルによるグラフクラス分類 片岡哲也 他
- テキストタッチが読みに与える影響:タブレット端末の利用が アクティブリーディングにもたらす影響の分析 柴田博仁 他

\* : 推薦論文 Recommended Paper

†:テクニカルノート Technical Note



#### 論文誌トランザクション掲載論文リスト (Sep. 2016)

#### 【論文誌 プログラミング Vol.9 No.4】

■ Method for Procedural 3D-printing Using a Python Library

Yasusi Kanada

■ Declaring Constraints on Object-oriented Collections

Tim Felgentreff 他

- Let High-level Graph Queries Be Parallel Efficient : An Approach Over Structural Recursion On Pregel Chong Li 他
- 規則違反コードの構造を反映した木パタンを用いるコード検査器 中村真也 他
- 有効範囲を既知のコールパスに限定する Ruby 向けの安全なク ラス拡張 Method seals 福室 嶺他



#### 【論文誌 コンシューマ・デバイス & システム Vol.6 No.2】

- 有価陶磁器製品に不可視な2次元コードを焼き付ける方法の提 案とその評価 藤川直樹 他
- ホームネットワーク内接続機器の情報を活用した世帯人数推定 システム 美原義行 他

- 慣性情報と生体情報に基づく車いす利用者の乗り心地推定 伊勢崎隆司 他
- 電力ディスアグリゲーション技術の小規模店舗適用

尾崎友哉 他

■ 自動運転向け車内ネットワークシステムにおけるデータ伝送方 式の開発 木谷光博 他



#### 【論文誌 データベース Vol.9 No.3】

- 車両走行センサデータからの自動パターン検出 本田崇人 他
- Non-linear Time-series Analysis of Social Influence

Minh Thinh Do 他

- Area Skyline Query for Selecting Good Locations in a Map Annisa 他
- Twitter における空間差異に基づく群衆の関心分析のための可 視化システム構築 若宮翔子 他



## IPSJ MAGAZINE Vol.57 No.10 (Oct. 2016)

#### CONTENTS

#### **Preface**

948 **Artificial Intelligence and Natural Intelligence** Toshiyuki NAKAGAKI (Hokkaido Univ.)

#### **Special Features**

#### Collaborating Planning of IPSJ and JSAI - What's AI? -

950 0. Foreword

> Satoshi KURIHARA (The Univ. of Electro-Communications / Artificial Intelligence eXploration Research Center), Hiroshi YAMAKAWA (DWANGO Co., Ltd.), Tohru NAGANO (IBM Japan., Ltd.) and Mayumi BONO (National Institute of Informatics)

952 1. Information Processing and Artificial Intelligence

> Satoshi KURIHARA (The Univ. of Electro-Communications / Artificial Intelligence eXploration Research Center) and Masahiko TSUKAMOTO (Kobe Univ.)

Moderator: Yasuyuki SUMI (Future Univ. Hakodate) Moderator, Editor: Tohru NAGANO (IBM Japan, Ltd.)

2.1 Studies on Communication Robots Hiroshi ISHIGURO (Osaka Univ. / ATR)

960 2.2 Artificial General Intelligence: Trends and **Prospects** 

Ryutaro ICHISE (National Institute of Informatics)

962 2.3 Moral in the Machine Minao KUKITA (Nagoya Univ.)

964 2.4 Evolution from Deep Learning to AGI Satoshi KURIHARA (The Univ. of Electro-Communications /

Artificial Intelligence eXploration Research Center) 966 2.5 Cognitive Computing Koichi TAKEDA (IBM Japan, Ltd.)

968 2.6 From Wearable Computing to Singularity Masahiko TSUKAMOTO (Kobe Univ.)

970 2.7 AI to Serve People

Hiroshi TSUJINO (Honda Research Institute Japan Co., Ltd.)

2.8 Trends in Dialogue Systems Research - Can Dialogue Systems be the Interface of the Next Generation? -

Ryuichiro HIGASHINAKA (NTT Media Intelligence Labs.)

974 2.9 Deep Learning as a Programming Paradigm Hiroshi MARUYAMA (Preferred Networks, Inc.)

976 2.10 Modeling of User's Cognitive States Based on **Brain Monitoring** 

Koji MORIKAWA (Panasonic Corp.)

978 2.11 Deep Evolution Takashi IKEGAMI (The Univ. of Tokyo)

3.1 How to Introduce General Intelligence of Brain? 981 Hiroshi YAMAKAWA (DWANGO Co., Ltd.)

985 3.2 Artificial Intelligence and Ethics Yutaka MATSUO (The Univ. of Tokyo)

#### Plenoptic Time-Space (PoTS) Technology

0. Foreword

Hideo SAITO (Keio Univ.)

992 1. Proposal of Plenoptic Time-Space (PoTS)

> Hideo SAITO (Keio Univ.) and Hideyuki TAMURA (Ritsumeikan Univ.)

994 2. Recent Progress and Future Challenges on 3D Video

Shohei NOBUHARA (Kyoto Univ.)

3. 3D Video System Based on Light Field: from 998 **Acquisition to Display** Toshiaki FUJII (Nagova Univ.)

1002 4. Computational Photography Based on Ray Measurement

Yasuhiro MUKAIGAWA (NAIST)

5. PoTS Application - Free-Viewpoint Video 1006 **Broadcasting for Sports Games -**

Itaru KITAHARA (Univ. of Tsukuba)

1008 6. An Application of PoTS: Digitization and **Visualization of Cultural Heritage Assets** Takeshi OISHI (The Univ. of Tokyo)

1010 7. Applications and Expectations of Panoptic **Technologies** 

Kazuhiko SUMI (Aoyama Gakuin Univ.)

#### **Senior Column: Messages on Favorite IT**

Things that Change, that Do not Change. Those that must be Changed.

Jiro TANAKA (Waseda Univ.)

#### **Series: Welcome to the Programming World**

1012 Learn to Program with Racket's Game **Programming** 

Kanae TSUSHIMA (National Institute of Informatics)

1018 **Demonstrate Your Programming Skills! - Learning Through Contests** 

Hironori WASHIZAKI (Waseda Univ. / National Institute of Informatics / System Information Co., Ltd.)

#### "Peta-gogy" for Future

1023 To Evaluate Programming Ability Hirovasu KAKUDA

Introduction of Programming through "Kawaii" 1024 **Handicrafts** 

Tomoko YOSHIDA (Kyoto Notre Dame Univ.)

1022 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine

1028 Activities of IPSJ - Special Reports by the Female Team of IPSJ Magazine -

**IPSJ Activity Report** 1032

1036 **IPSJ Activity Report** 

1042 **Biblio Talk** 

1044 **Conference Report** 

#### ご意見をお寄せください!

#### 【10月 10日頃までにお出しください】

一般社団法人 情報処理学会 モニタ係(下記のいずれからも送付できます) http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp (E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください) ※ご意見の投稿に伴う,住所,氏名,所属などの個人情報については,学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします. http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html 宛 先

[コード]

(1) ご氏名		
[2] ご所属 Tel. ( ) -		
(3) E-mail:		
[4] 業種: (a) 企業(サービス業) (b) 企業(製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関(小・中・高校・高専・大学・大学院など) (e) 学生 (f) 学生(ジュニア会員) (g) その他	4- [	]
[5] 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務         (f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員 (小・中・高校・高専・大学・大学院など)         (h) 学生 (i) 学生 (ジュニア会員) (j) その他	5- [	]
[6] 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ····································	6- [	]
〔7〕性別: (a) 男性 (b) 女性 ···································	7- [	]
[8] あなたはモニタですか?:(a) はい (b) いいえ	8- [	]
(9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります. その場合: (a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない	9- [	]
〔10〕今月号(2016 年 10 月号)の記事は良かったですか.下記の記事すべてについて評価をで回答ください. [a…大変良い b…良い c…普通,どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]		
巻頭コラム:人工知能と自然知能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10-1- [	[ ]
特集:人工知能学会共同企画―人工知能とは何か?		
1. 情報処理と人工知能       ************************************		
2.1 対話型ロボットの研究 ····································		
2.2 がけんエスボルグラれんと版室 2.3 機械の中の道徳 ····································		
2.4 深層学習から汎用人工知能への進化に向けて ····································		
25 コグニティブ・コンピューティング	10-7- [	[ ]
26 ウェアラブルからシンギュラリティへ		
2.7 人のための人工知能		
2.8 対話システム研究の動向		
2.9 プログラミングパラダイムとしての深層学習		
2.10 脳計測によるユーザ認知状態のモデル化		
2.1 TDeep evolution 3.1 汎用性の創発を脳に学ぶために ······		
3.2 人工知能と倫理		
IT 好き放題:変わるものと変わらないもの,変わらなくてはいけないもの		
	10-17-	
2. 3 次元ビデオ技術の最近の動向		
3. 光線情報を用いた 3 次元映像情報の取得から表示まで ····································		
4. 光線計測に基づくコンピュテーショナルフォトグラフィ ····································		
5. POTS 映像字の活用一百田祝点映像による次直パスホーク中極一 6. PoTS 映像学の活用:文化財の保存と展示····································		
3. 1013 吹像手の活用・文化物の保存と接が         7. 汎光線空間技術の応用と期待 ····································		
あなたの知らないプログラミングの世界:ゲームを通してプログラミングの基礎を学ぼう(後編)	10-24-	[ ]
あなたの知らないプログラミングの世界: 君の実力を試してみよう!	10-25-	[ ]
会誌編集委員会女子部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10-26-	[ ]
ぺた語義:プログラミング能力の評価		
ぺた語義:手芸制作を通して楽しくプログラミング学習	10-28-	[ ]
女子部が行く!:論文誌ジャーナル編集委員会(幹事会)		
学会活動報告:オープン・サービス・イノベーション活用の秘訣は何か?	10-30-	[ ]
学会活動報告:情報技術の国際標準化と日本の対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
ビブリオ・トーク:たいていのことは 20 時間で習得できる	10-32-	[ ]
会議レポート: DAC 2016 参加報告 ····································		
圧戦/文凹・□ 口们	10-54-	L J

[11] 本号で最も良かった記事は何ですか? 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入), その理由をださい.上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接で記入ください.	
(11-1) 良かった記事	- [ ] 2- [ ]
〔12〕本号で最も良くなかった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入),その理答ください.上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください.	
[12-1] 良くなかった記事       12-1         [12-2] この記事に対する貴方の立場: a) 専門家 b) 非専門家       12-2         [12-3] 選んだ理由(下記から, いくつでも選択可)       12-3-[	
(12-3) 選んだ理田 (下記から, いく ) でも選択可) (12-3-1	」 蛍すぎる
[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください.       (13-1) 人工知能学会共同企画―人工知能とは何か?:a) 専門家 b) 非専門家	- [ ] '- [ ]
〔14〕設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について,その理由を教えてください.	

# ■ 各種問合せ先 ■

[15] 会誌に対するご意見やご感想,著者への質問,巻頭コラムに登場してほしい人物,今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください.

一般社団法人 情報処理学会(本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください. 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 http://www.ipsj.or.jp/

(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容			
■会員サービス部門						
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会,会費,変更連絡,退会,在会証明,会員証,会誌配布,会員特典,会費等口座振替海外からの送金,賛助会員,電子図書館			
■ 会誌編集部門		•				
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容,広告掲載,転載許可,出版, コンピュータ博物館(情報処理技術遺産),著作権			
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス(DP)の編集・査読,DP レポート			
図書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入			
■ 研究部門	,					
論文誌	editt@ipsj.or.jp		論文誌(ジャーナル/ JIP /トランザクション)の編集・査読			
調査研究/ 国際/教育	sig@ipsj.or.jp	03-3518-8372	研究会登録、研究発表会、研究グループ、シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会、 情報処理教育委員会、アクレディテーション対応、認定情報技術者制度			
■ 事業部門	,					
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	- 03-3518-8373	全国大会, FIT, プログラミングコンテスト, プログラミング・シンポジウム, 協賛・後			
技術応用	event@ipsj.or.jp	03-3518-8373	連続セミナ,短期セミナ, IT フォーラム,ソフトウエアジャパン,その他講習会			
■ 管理部門						
総務/庶務	soumu@ipsj.or.jp		総会・理事会,支部,選挙,総務系選奨,関連団体,アドバイザリーボード			
経 理	keiri@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出納,送金連絡			
システム企画	sys@ipsj.or.jp	1	システム企画, セキュリティ, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJメールニュース			
■情報規格調査会	<del>.</del> 숲	•				
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/ index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務   〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3   Tel (03)3431-2808   Fax (03)3431-6493   http://www.itscj.ipsj.or.jp/			

「人工知能と人型ロボットは信用するな」、私が大学のとき にある授業で聞いた言葉です。何でもしてくれそうだけど何 もできないから、というのがその理由だったのですが、実際 私が大学を卒業してからの十数年. ほんの2.3年前までその どちらも大きく脚光を浴びることはありませんでした. とこ ろが, この数年, そのどちらにもブームが訪れ, 国際会議で は「ニューラルネットを用いた○○○」という論文が多く採 択され、小売店の店頭では人型ロボットが簡単なコミュニケー ションをとってくれるようになりました. なかなか将来の技 術動向というのは分からないものだなと思います.

今回、人工知能学会の協力のもと「人工知能とは何か」と いうお題で人工知能の特集を編集させていただく機会に恵ま れました. 対談で両編集長が話されていたことですが、人工 知能の関連技術が実社会で幅広く用いられるようになってき ました. 本特集では、実社会での応用や課題を計13名の先生 方にご紹介いただきました. 人工知能とは何か. という問い に一言で答えるのは難しいと思いますが、ご紹介させていた だいた技術分野の集合が人工知能といえるのかもしれません. とても分かりやすく執筆いただいた著者の皆様に心から感謝 いたします.

この企画の編集にあたり、人工知能学会から栗原先生、山 川氏、市瀬先生、両学会の橋渡しをしていただいた坊農先生 には大変ご尽力いただきました. 人工知能学会とは. 研究会 の共催などを通じて連携しておりましたが、学会誌での連携 は初めてではないかと思います. 今後もさまざまな形で連携 する機会が増えれば幸いです.

検索エンジンで「人口知能」を検索すると「人工知能」に 負けず多くのページがヒットします.次は「人口知能」のブー ムがやってくるかもしれません (笑).

(長野 徹/本特集エディタ)

小特集「汎光線時空間映像学」の編集を担当しました. 2016年3月に慶應義塾大学で開催されたシンポジウムを 聴講し、20数年前に同時多発的にさまざまな大学や文脈から 萌芽した研究が、理論的・応用的に大きな流れになりつつあ る状況に興奮しました.

その場で主催者の斎藤英雄先生に特集案をご提案し、半年と いう短い期間で特集にまとめていただきました。お忙しい中、通 常よりも短い期間でご執筆いただいた皆様と、とりまとめいただ いた斎藤先生および田村秀行先生に深くお礼申し上げます。

(角 康之/本小特集エディタ)

#### 次号(11月号)予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください.

#### 「特集」ゲーム産業の最前線~企画、プログラミングからハードウェアまで~

日本のゲーム産業:その発展とビジネスの特徴/いちからゲームを作ってみよう!/ゲームにおけるプロデュースについて/ ソーシャルゲームの誕生と現在・未来/ゲーム・プラットフォームの進化/ VR の勃興

特別解説:ポケモン GO の衝撃 (コラム集)

特別解説:「変なホテル」訪問―変わり続ける労働現場― ………………………………………………………………… AIR

解 説:データの形が教えてくれること— Topological Data Analysis とその応用— …………………………梅田裕平

教育コーナー: ぺた語義

連 載:IT 日和/あなたの知らないプログラミングの世界~プログラミングがこんなに面白いって知っていましたか?~/ 会誌編集委員会女子部/女子部が行く!/ビブリオ・トーク

コラム:巻頭コラム/シニアコラム:IT 好き放題

会議レポート: DICOMO2016 開催報告―出席者 396 名の会議を運営した事務局から―/ PLDI 2016 報告/ ACM SIGIR 2016 参加報告

### 掲載広告カタログ・資料請求用紙

#### ······· 広告のお申込み ······

#### ■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1色		
表 2	330,000 円 (税込 356,400 円)				
表 3	275,000 円 (税込 297,000 円)				
表 4	385,000 円 (税込 415,800 円)	_	_		
表 2 対向	300,000 円 (税込 324,000 円)				
表 3 対向	265,000 円 (税込 286,200 円)	190,000 円 (税込 205,200 円)	155,000 円 (税込 167,400 円)		
前付1頁	250,000 円 (税込 270,000 円)	165,000 円 (税込 178,200 円)	135,000 円 (税込 145,800 円)		
前付 1/2 頁	_		80,000 円 (税込 86,400 円)		
前付最終	_		148,000 円 (税込 159,840 円)		
目次前	_		148,000 円 (税込 159,840 円)		
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	275,000 円 (税込 297,000 円)				
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	350,000 円(税込 378,000 円)				
同封 (A判 1枚)	350,000 円(税込 378,000 円)				

#### ■「情報処理」

行 一般社団法人 情報処理学会

発行部数 20,000 部

体 裁 A4判

発行日 毎当月15日

申込締切 前月10日

原稿締切 前月20日

広告原稿 完全版下データ

原稿寸法 1頁 天地 260mm ×左右 180mm

1/2 頁 天地 125mm×左右 180mm

天地 297mm ×左右 210mm 雑誌寸法

#### ■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

アドコム・メディア (株) (Tel/Fax/E-mail は下に記載)

- \*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます.
- \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください.

#### 

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は,ご希望の会社名にチェック 図 を入れ,送付希望先をご記入の上,Fax にて(ま たは E-mail にて必要事項を記入の上) アドコム・メディア (株) 宛にご請求ください.

#### ■「情報処理」 57 巻 10 号 掲載広告(五十音順)

□インタフェース	表 2	□電子情報通信学会	表 2 対向下
□講談社·····	表 2 対向上		

□すべての会社を希望

#### ■資料送付先

( フリガナ お名前							
勤務先				所属部署			
所在地	(〒 -	)					
	TEL (	)	-	FAX (	)	-	
ご専門の分!	野						



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



#### 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介いたします。 Web サイト (http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html) 「賛助会員一覧」のページからも

各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員(20~50口)



(株) 日立製作所



富士通(株)

\Orchestrating a brighter world



日本電気(株)



三菱電機(株)



(株) サイバーエージェント



日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員(10~19口)





グーグル (株)



(株) NTTドコモ







日本電信電話(株)



日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員(3~9口)



NTT データ (株)



沖電気工業(株)



グリー (株)



楽天(株)





NTT コムウェア(株)



(株)うえじま企画



三美印刷 (株)



ソニー (株)



パナソニック(株)



(株) フォーラムエイト